

授業科目	高次脳機能障害学Ⅱ				
担当者	林部 美紀 (実務経験者)				
実務経験者の概要	作業療法士として病院に勤務していた				
学科名	理学療法学専攻	学 年	3年	総単位数	1単位
		開講時期	前期	選択・必修	選択

■ 内 容

高次脳機能障害学Ⅰを基に理学療法士が知っておく必要がある高次脳機能障害のスクリーニング検査や理学療法中の注意事項やアプローチ方法などを講義やグループワークで学ぶ。

■ 到達目標

1. 各高次脳機能障害の検査方法を理解できる。
2. 各高次脳機能障害の検査を抽出できる。
3. 各高機能機能障害の特徴を理解できる。
4. 高次脳機能障害について、理学療法中の注意事項が分かる。

■ 授業計画

- 第1回 オリエンテーション・認知機能検査の実際と解釈
 第2回 注意機能の評価の実際と解釈・注意障害における理学療法中の注意事項、半側空間無視の評価の実際
 第3回 半側空間無視の評価の解釈・半側空間無視における理学療法中の注意事項、記憶障害の評価の実際
 第4回 記憶の評価の解釈・記憶障害における理学療法中の注意事項
 第5回 行為の評価の実際、行為の評価の解釈・失行症における理学療法中の注意事項
 第6回 失語の評価の実際、失語症の評価の解釈・失語症における理学療法中の注意事項
 第7回 その他の評価の実際と解釈
 第8回 まとめ

■ 評価方法

【科目試験(レポート)60%】発表 20%、筆記試験20% 授業中の居眠り、私語をするごとに?5点を減点する。小テストを含む試験時に不正な行為があったと認められた者については、規程に定める第16条を適用し、当該学期の全ての試験を無効とし、失格(留年)とする。

■ 授業時間外の学習(予習・復習等)について

高次脳機能障害学Ⅰの復習をしておくように。1回につき20分以上かかる。レポートに表せるように文献を読むこと。

■ 教科書

書名：高次脳機能障害学 第2版
 著者名：石合 純夫
 出版社：医歯薬出版株式会社

■ 参考図書

書名：高次脳機能障害マエストロシリーズ ③リハビリテーション評価
 著者名：鈴木孝治, 早川裕子ら
 出版社：医歯薬出版株式会社

■ 留意事項

遅刻・欠席に注意するように。

■ 講義受講にあたって

本授業は選択制であり、高次脳機能障害学 I の応用編となる。授業中の積極的な態度が必要である。実践へも応用できるようにする授業である。